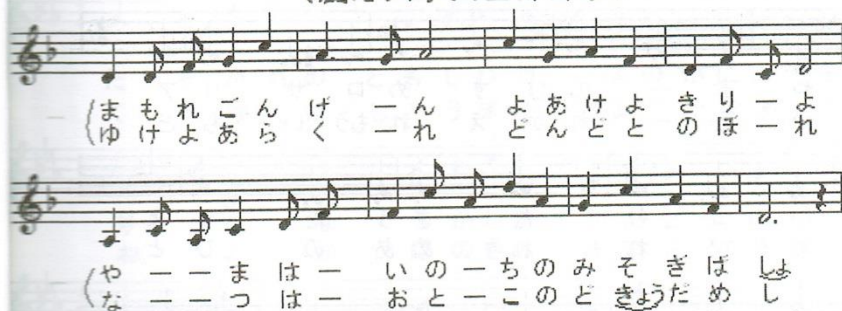


守れ権現 (慶応大学山岳部部歌)

作詞 北原白秋
作曲 中山晋平



- (一) 守れ権現みそぎ 夜明けよ霧よ
山は命のみそぎ 禊場所
行けよ荒くれ どんと登れ
夏は男の 度胸だめし
- (二) 何を奥山道こそなけれ
水も流るる 鳥も啼く
馬子は追分おいはけ 木こりは木遣きやり
朝は裾野の 放し駒
- (三) 風よ吹け吹け 笠吹き飛ばせ
笠は紅緒べにおの 荒結び
雨よ触れ触れ
さんざとかかれ
肩のきこさも 伊達じやない
- (四) 山は百万石 木がやの波よ
木がや越ゆれば お花畑いわや
雪の御殿に 水の巖窟
滝は千丈の 逆おとし
- (五) さあさ火を焚けた
ごろりとたまよ
木の根枕に 嶺の月さゆり
夢にや鈴蘭 谷間の小百合
酒の肴にや 山鯨やまぐし

慶応大学の学生だった大竹荘介が山岳部の会の歌を作るべく、大竹が小学生の時に通っていた根岸小学校（台東区）で唱歌を教えていた中山晋平（依頼時は作曲家）に頼んで作ってもらった歌である。その際、中山は北原白秋に作詞を依頼し、出来上がったのが「山の唄」の歌詞で、後に題名を作者に無断で「守れ権現」に変えてしまったとされています。

- (六) 守れ権現みそぎ 鎮まれ山よ
山は男のみそぎ 禊場所
雲か空かと 眺めた山も
今じゃわしらが 眠り床どこ